

良いところを理解してもらうために ～就職試験出陣式～

いよいよ就職試験が始まります。19日には早速6名の生徒が、翌日の20日には2名の生徒が、そして21日には3名の生徒が就職試験を受験します。そのあとも、いろいろな企業で採用試験が順次行われます。

そこで、9月14日（木）の「総合的な学習の時間」に、3年生が就職出陣式を行いました。3年生生徒全員が視聴覚教室に入り、就職試験を受験する20名の生徒が、順番に一人ずつみんなの前で就職試験に向けての決意表明を行いました。

「就職試験出陣式」学校長激励の言葉から抜粋

会社にとっては、人を採用するというのは大きな買い物です。おそらく生涯賃金を考えると一人につき1億円ぐらいの買い物になるのではないのでしょうか。だから、会社から見れば、多額の給料を払うからには、会社の役に立ってくれる人、会社のためにほかの社員と協力しながら成果を上げ、会社に貢献してくれる人を採用したいのは当然です。

面接試験では、確かに、大きな声で、礼儀正しく振る舞うことは必要です。しかし、それがいくら上手にできても、大きなプラスにはならないのではないのでしょうか。もちろん、できなければマイナスにはなります。

面接でプラスの効果を出すには、自分の良いところを積極的に理解してもらう必要があります。そのための準備をしっかりと面接試験に臨みましょう。

面接官は何を見るのか

- ・大人と普通に話ができる人が求められます。仕事場に子どもは必要ない。
- ・自分の意志や判断によって行動できる人が求められます。
- ・外の世界に対して関心を示す社交的、行動的な性格の人が求められます。
- ・その反対に、内向的、引っ込み思案、他人との関係を避けたがる性格は好まれません。

自分の良いところを理解してもらうために

- ・具体的に語ることでできる内容を準備する
(学校生活でがんばったこと、印象に残ったこと、何か自信のある事、しんどかったこと・失敗したこと、でもそれを克服したことなどできるだけ具体的に)
- ・簡潔に述べられるように、自分の中で整理しておく
(メモを用意して見直す、1項目を1分程度で話す練習をしておく)
- ・明るい笑顔が大切
(一緒に仕事がしたい、仕事を任せたいという安心感につながる)

(校長 高橋信之)